

議会だより

● 発行所 ●

一宮町議会

〒299-4396 千葉県長生郡一宮町一宮2457
TEL 0475 (42) 2111 (代)
TEL 0475 (42) 1421 (直)
FAX 0475 (42) 2465

発行 一宮町議会
編集 議会報編集委員会



チューリップ畑たのしいなあ (東浪見保育所)

22年度予算決まる

- 平成22年度一宮町会計別当初予算他 …… (2)
- 常任委員会審査報告 …… (3)~(4)
- 平成22年度予算討論 …… (4)~(5)
- 3月定例議会で決まったこと …… (6)~(7)
- 一般質問4名の議員より・表彰 …… (8)~(11)
- 議会の主な動き・編集後記 …… (12)

平成22年5月
第135号

三月定例議会

総額60億7千9百万円で
平成22年度スタート

平成22年第1回一宮町定例議会は、3月8日から15日までの8日間の会期で開催され、町長の施政方針を

はじめ、発議1件、同意1件、推薦1件、一般質問は4名の議員がおこなわれました。

また、議案として条例の制定・一部改正など9件、補正予算については、一般会計他7会計が原案どおり可決しました。

なお、新年度予算6会計については、執行部より提案され説明後、各常任委員会へ付託されました。

新年度予算の審議は、各常任委員会で現場踏査をはじめ、担当各課から説明を受け、慎重に審査をおこなっていました。

その結果、新年度予算は、各常任委員会とも「可決すべきもの」との結論に達しました。

そして、本会議でも各常任委員会の委員長報告に対し、全員賛成及び賛成多数により、6会計とも原案どおり可決されました。

各常任委員会の審議状況を要約して報告いたします。



すがすがしい竹林

平成22年度 一宮町会計別当初予算一覧表

(単位：千円)

会計区分	平成22年度	平成21年度	比較	増減率	
一般会計	3,600,000	3,372,000	228,000	6.8	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	1,372,626	1,373,503	△ 877	△ 0.1
	老人保健特別会計	1,505	1,958	△ 453	△ 23.1
	介護保険特別会計	855,459	831,727	23,732	2.9
	後期高齢者医療特別会計	147,624	127,541	20,083	15.7
	一宮荘特別会計	0	84,931	皆減	皆減
	老人福祉センター特別会計	0	21,887	皆減	皆減
	農業集落排水事業特別会計	101,926	114,965	△ 13,039	△ 11.3
特別会計合計	2,479,140	2,556,512	△ 77,372	△ 3.0	
総合計	6,079,140	5,928,512	150,628	2.5	

総務文教

委員長	秦 重悦
副委員長	島崎 保幸
委員	井桁太喜一郎
委員	畑場 博敏
委員	高梨 邦俊



改築が待たれる一宮中学校体育館

質問

平成22年度にJ.Rがおこなう、バリアフリー化設備整備費補助金事業とは

回答

バリアフリー化の工事で、

質問

一日当り乗降客が5000人以上の駅が対象である。事業費負担は、町、J.R、国が各1/3である。

質問

コミュニケーション助成事業助成金の使途は

回答

テント10張り、テーブル10個、椅子30脚の備品購入です。

質問

新学習指導要領の実施にむけ教科書の選定方式は

回答

長生郡市は、採択地区協議会を設け、専門調査委員会で協議決定する。

質問

公債費の元金と利子について、今後の償還状況は

回答

今後見込まれる事業を含めた公債費の償還ピークは、平成27年度から29年度の3ヶ年で年4億円である。

要望事項

1. 一宮荘の閉鎖に伴い、マイクロバスの有効利用を要望する。
2. 職員研修の更なる向上を考え、研修費の増額を要望する。

経済

委員長	森 佐衛
副委員長	室川 常夫
委員	萩原 一美
委員	小関 国男
委員	緑川 弘行



県道南総一宮線道路改良事業

質問

ごみ集積所から資源ゴミの古紙等が持去られる。その対策は

回答

広域組合で検討している。今後、見かけた場合一

質問

報いただければ広域、警察と協議対応する。

質問

町営住宅は建設から長期間が過ぎ、当初の目的は達成されたとするが、施設の廃止並びに県営住宅への転換をおこなってはどうか

回答

緊急雇用事業で、シルバー人材センターと契約しているが、仕事の内容は

質問

問合せにより、町内の2ヶ所の県営住宅を紹介している。町営住宅の敷地所有者から返還要望もあり、条件が整えば返還していく。

回答

要望事項

1. 「かずさ有機センサー」の運営について、農業集落排水などは、一人当りの使用料金で計算されている。これを参考に牛一頭あたりの利用料で計算するなど、酪農家の負担の検討を要望する。
2. 海岸の年間を通じて設置する仮設トイレは、暴風雨等にさらされる場所に設置するので、維持管理には万全を期すよう要望する。

厚生

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 中村新一郎 |
| 副委員長 | 鶴岡 巖 |
| 委員 | 志田 延子 |
| 委員 | 吉野 繁徳 |
| 委員 | 石野以和夫 |

質問

ここにサービスは、デマンド交通と、どう絡むか

回答

デマンド交通に関する説明会では、利用料金等に対して意見が出されていた

が、具体的な方向については今後更に地域公共交通活性化協議会で検討されていくと思う。

質問

ブックスタート事業とはどのようなものか

回答

教育課が主体で月1回の



グループホーム（介護施設）

乳児相談にあわせ、7ヶ月児を対象にボランテアが絵本の読み聞かせをおこなっている。

質問

妊婦の健診から出産まで相当な経費がかかるが助成内容は

回答

平成21年度から14回の健診費用を助成している。

質問

国保税を、何回も引き下げしてほしいと要望しているが

回答

標準世帯での試算による比較では、長生郡市で、下から2番目に低い水準である。

質問

地域支援事業の高齢者安全安心見守り事業とは

回答

一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置し、24時間体制で安否確認をしている。

平成22年度予算私はこう考える

予算については、6会計のうち一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計の4会計で次のとおり反対討論、賛成討論がありました。

一般会計

反対討論

鶴岡 巖議員

本予算案は、財政調整基金を取り崩すことなく編成し、「新しいまちづくり実行宣言」を実現していくとしている。

主な内容は、上総一ノ宮駅バリアフリー化のエレベーター設置、デマンド交通の試験運行の実施、子どもの医療費助成を小学校3年生までの無料化を県に先駆け4月より実施するなど、住民要望に応えた予算編成になっている。

問題点としては、昨年の予算要望でも国保税の引き下げを強く求めてきたが、一世帯当たり2万円の引き

下げは可能である。

また、臨時保育士の待遇面は改善されたが、正保育士採用の取り組みは改善されていない。

そして、ラスパイレス指数が県下で最下位となった職員給与の改善は急務となっている。

産業面は、米の新政策での減反の押し付けと、使いづらい戸別所得補償制度では、実施する農家は皆無に等しい。外米輸入の自由化もそのままではなおさらである。農家の声を国に強く主張すべきである。

本予算案は、全般的には評価できる面も多い予算編成といえるが、不十分な点が住民生活の面から深刻であり、根本姿勢が問われる問題となっている。

今後の改善を求め反対する。

賛成討論

島崎 保幸議員

新年度予算は、平成元年以来、21年振りに財政調整

基金を取り崩すことなく、収入に見合った支出で予算が編成されている。

歳入の財源に着目して見ると、長引く経済不況による個人・法人町民税の減収がみられるが、固定資産税の増収により前年度並みの町税収入が見込まれている。また、普通交付税も、大幅な増収が見込まれている。

歳出では、デマンド交通の開始、J R上総一ノ宮駅バリアフリー化によるエレベーター設置、社会福祉協議会の土地建物取得など、新たな事業が多数見られる。また子ども手当支給、乳幼児医療制度は、県に先行し4月から小学校3年生まで町単独で医療費助成をおこなうなど、福祉にも重点をおいた予算となっている。

「新しいまちづくり」に向けて積極的な取り組みが見られ、町民ニーズに十分応える予算であると判断し、本予算に賛成する。

国民健康保険特別会計

反対討論

舛場 博敏議員

自治体の役割は、住民の命と暮らしを守ることであり、経済的な基盤の弱い人達が加入している国保は、命を守る砦である。

町の国保加入世帯は所得200万円以下の世帯が41%を占めており、県内56

市町村の世帯割調定額の20年度決算では高いほうから6番目、一人当たり調定額では4番目に高い町となっている。国保会計は、限界を超えた重税となっており、町長の議会答弁でも「6

月までまだ時間があるので少し検討して見たい」との話があった。加入者の声を直接聞き大いに検討し、一世帯2万円の引き下げを決定してほしい。

この国民健康保険制度を持続するためには、国庫負担を増やす政策転換を国に強く求め、以前のように国庫負担50%を実行させることである。

町は今まで以上に声をあげ、改善、努力を要望し反対する。

賛成討論

志田 延子議員

国民健康保険特別会計は、被保険者の相互扶助によって賄われる医療保険制度とし、地域医療の確立と住民の健康保持・増進に大きく貢献しているところである。

一方医療保険制度を取り巻く情勢は、少子高齢化、疾病構造の変化や受診件数も増えており、医療費の伸びを見ながらの予算となっている厳しい状況である。

この状況のなかでも、昨年度出産育児一時金の直接払い制度の改善により被保険者の負担軽減もされ、懸念されていた国の国保財政基盤強化対策関連事業も22年度から25年度まで引き続き継続されることになった。

本予算は事業の現状を踏まえ、被保険者の健康を守り、安心して医療を受けられるよう計上されており、厳しい財政状況のなかでの健全なる予算と判断し賛成する。

介護保険特別会計

反対討論

舛場 博敏議員

介護保険は、10年前に介護を社会全体で支えるとしてスタートした。しかし、いぜんとして特養の待機者問題と施設の経営難、介護労働者の低賃金など多くの問題をかかえている。

町は、65才以上の高齢者が3346人と高齢化比率26・83%になり、年々増加傾向にある。ここでも国の負担率を増やす介護保険法の充実は緊急課題になっている。町は昨年4

月より、多くの自治体が介護保険料を据え置いたり、値下げしているなか、基準額で300円値上げし3600円とした。今年度は3650円、平成23年度は3700円としている。

国に制度改善を強く求めるとともに、一般会計からの繰り入れも検討すべきである。埼玉県美里町や北海道中富良野町では一般会計からの繰り入れで値上げをおさえている。改善を求め反対する。

賛成討論

吉野 繁徳議員

新年度予算は、第4期介護保険事業計画を踏まえ、高齢者数及び介護認定者数の推計、過去の実績に基づく保険給付費、介護予防事業である地域支援事業の事業費が見込み算定されており、歳入も歳出も、厳しく検討された適切な予算だと思ふ。

今後、高齢化の進展に伴って、寝たきりや認知症の高齢者が増えることが見込まれる。また、介護期間が長期化したり、介護する家族の高齢化が進んでおり、家族による介護では十分な対応が困難となってきた。

こうしたなか、高齢者がいきいきと暮らしていくためには、介護を必要とする人のための介護サービスを総合的に提供する介護保険事業が、必要不可欠なものとして判断されることから本予算に賛成する。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

舛場 博敏議員

後期高齢者医療制度は、高齢者の人口と医療費の増加が保険料を限りなく押し上げる仕組みとなっている。このままでは医療抑制も働き病気も重症化すると多くの医師会も反対している。

町の業務は、保険料の徴収や保険証の交付事務が中心であるが、一刻も早く差別制度を元にもどし、平成20年に日本共産党と民主党、社民党、国民新党が共同提案した、「後期高齢者医療制度はただちに廃止し、いったん老人保健制度に戻す。対象者の負担増が生まれる場合には国が手当てをする」とした法案を復活するよう要求することである。

他の先進国では当り前の医療費の窓口負担ゼロをめざし、高齢者と子供の医療費を国の制度として無料化する。この声を現場の市町村からあげていくことを要求し反対する。

賛成討論

石野 以和夫議員

平成20年4月から、後期高齢者医療制度が施行され、3年目に入るが、高齢者の医療を国民全体で支えていくことで、現役世代と高齢者が共に支え合う制度を保障している。

現在、本制度は被保険者にもかなり浸透しており、基本健診の質の向上や人間ドックの助成もされ、順調に運営されている。現政権下では、この制度を平成24年度まで存属させ、平成25年度から新しい高齢者医療制度を創設させることとしている。

本会計は、法律に基づき町がおこなうべき業務に関連した予算を経理するための特別会計である。

被保険者の健康を守り、安心して医療が受けられるよう計上された予算と判断し、本案に賛成する。

条例改正・認定

発議

一宮町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

月に60時間を超える職員の時間外勤務手当(150/100)に係る支給割合と本来の支給割合(125/100)との差額分の手当て(25/100)の支給に代えて代休を指定することができ、正規の勤務時間以外の勤務をさせてはならないとするものです。

また、3歳に満たない子のある職員がその子を養育するために請求した場合には、公務に支障がある場合を除き、正規の勤務時間以外の勤務をさせてはならないとするものです。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業法の改正に伴い、育児休業等を行うことができ、職員の範囲の見直しをするもので、職員の配偶者が育児休業している場合でも、育児休業等ができるようにするものです。

また、育児休業により養育しようとする子の出生の日から産後休暇の期間である8週間内に男性職員が最初の育児休業をした場合に、当該子について再度の育児休業をすることができるようになりました。

特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

月額報酬であった社会教育委員の報酬を日額に改正しました。

また、月額報酬も現行単価7千9百円から7千円に見直すとともに、会議時間等の実情も考慮した半日額制3千5百円も導入しました。

町長等の給料の特例に関する条例の一部改正

町長・副町長・教育長の給料の減額期間を平成23年3月31日まで延長するものです。

減額率	町長	20/100
	副町長	20/100
	教育長	5/100

一宮町一般職員の給与に関する条例の一部改正

職員の時間外勤務手当について、月60時間を超える時間外勤務手当の支給率を現行の125/100から150/100に引き上げるものです。

また、地域手当については現行1%を支給していますが、当町は国の基準に基づく支給地域外であるため、廃止しました。

一宮町国民宿舎一宮荘財政調整基金条例を廃止する条例の制定

一宮荘の閉館に伴い、一宮町国民宿舎一宮荘財政調整基金条例を廃止するものです。

東浪見コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正

東浪見コミュニティセンター使用料は、全額徴収が全額免除の2通りであったが、老人福祉センターの廃止に伴い高齢者(65歳以上の利用者が半数以上の場合)の利用等について減額できるようにしました。

町道路線の認定

一宮町に道路が寄付されましたので、次のとおり町道認定しました。

路線名	町道3268号線
起点	一宮町東浪見字金坪901番6地先
終点	一宮町東浪見字金坪920番2地先
幅員	4・0m ～ 9・45m
延長	93・5m

千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

千葉県市町村総合事務組合の組織団体である組合立国保成東病院及び鴨川市南房総市環境衛生組合が平成22年3月31日をもって解散することにより、組合の組織団体の数が減少することから、組合規約中の組合を組織する他方公共団体に関する規定及び共同処理する事務等について改正するための協議です。

発議

一宮町議会委員会条例の一部改正

一宮荘及び老人福祉センター廃止に伴い、厚生常任委員会の「国民宿舎一宮荘の所掌に属する事項」及び「老人福祉センターの所掌に属する事項」を削除するものです。

一般会計

補正予算（第5次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億4千3百78万3千円を追加し、歳入歳出を39億7千5百76万円とするものです。

内容は、国の緊急経済対策である「きめ細かな臨時交付金事業」6千30万1千円の他「庁舎建設基金積立金」1億9千3百32万3千円の追加が主なもので、その他は各事業の実績・補助決定等に伴う事務事業の精算によるものです。

一宮町国民健康保険事業 特別会計補正予算（第4次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ7百83万2千円を減額し、歳入歳出を13億7千6百2万2千円とするものです。

内容は、退職被保険者等の保険給付費等の増額と共同事業拠出金の減額。また、平成20年度医療費の精算として国に返還するものです。

一宮町老人保健特別会計 補正予算（第3次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1千1百55万8千円を追加し、歳入歳出を2千5百79万6千円とするものです。

内容は、前年度繰越金の精算による一般会計繰出金の増額と平成20年度分医療の精算として国へ返還するものです。

一宮町介護保険特別会計 補正予算（第4次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ6百25万3千円を減額し、歳入歳出を8億4千2百32万6千円とするものです。内容は、保険給付費と事務費の精算による減額です。

一宮町後期高齢者医療特別 会計補正予算（第3次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2百74万5千円を減額し、歳入歳出を1億2千4百49万6千円とするものです。内容は、広域連合納付金等の減額によるものです。

一宮荘特別会計補正予算（第4次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3百34万9千円を減額し、歳入歳出を7千11万円とするものです。

内容は、一宮荘の閉館に伴う精算によるものです。

老人福祉センター特別会計 補正予算（第4次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1百30万8千円を減額し、歳入歳出を2千99万6千円とするものです。

内容は、人事異動及び精算によるものです。

農業集落排水事業特別会計 補正予算（第4次）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1百87万9千円を減額し、歳入歳出を1億1千3百71万1千円とするものです。

内容は、分担金と前年度繰越金の精算及び処理場の施設管理経費精算に伴う減額です。

同意

固定資産評価審査委員に 酒井芳人さんを同意



固定資産評価審査委員に、一宮町東浪見（17区）の酒井芳人さんが提案され、投票による採決の結果賛成多数で同意されました。

推薦

人権擁護委員に 河野久代さんを推薦

人権擁護委員に、一宮町一宮（15区）の河野久代さんが推薦され、議会で適任と決まりました。

あなたも議会を傍聴 しませんか！

次回は6月17日（木）からの

予定です

— お気軽にどうぞ —

補正

同意

推薦

県水時間をかけて 検討を



畑場博敏議員

県内の水道経営検討委員会から、平成22年度中に

九十九里地域水道企業団と南房総水道企業団を県営水道に統合する提言が出されているが問題点も多い。第一は、県の水道高料金対策補助金が、平成15年から完全履行されていない。第二は、給水人口が減り、水余

り状態になっている。そして新たなダム建設をすることで水源確保する必要のない問題等である。関係者が十分時間をかけて検討すべきと考えるが、町長の見解を伺う。

県と市町村 の会議等 で要望する

林総務課長 ライフラインの水道水の安定供給は、県を初め市町村に課せられた



長柄ダム

重要な責務である。高料金補助金は平成15年から削減されているが、会議等で県と市町村が県水との料金差額の同等負担をする覚書の通り、履行するよう要望していききたい。また水余りの状況のなかで、九十九里水道企業団では、八ツ場ダムに関して、水利権の要望はしていないと回答をもらっている。

国保2万 円減税を

一昨年の後期高齢者医療制度創設とあわせて町は、国保税の大幅アップをおこなった。過酷な税の引き上げに加入者から悲鳴が上がっていると何度も訴えてきた。県内56市町村中、世帯割では高いほうから6番目、一人当たり額では4番目に高い。

国保会計を運営上から見るのではなく、加入者の生活実態、税の支払い能力から見れば、個人の努力の限界を超えた重税になっている。世帯割2万円減税を強く求める。

現行税率 維持で努 力する

玉川町長 平成21年度国保会計の決算見込みは昨年6月に資産割の12%引き下げをおこない、景気低迷による税の減収分とあわせて約2千500万円の減収であり、繰越金で対応した。医療費は横ばい状態で、町全体の財政事情を考えると世帯割減税は困難であり、引き続き現行税率を維持することで努力していききたい。新年度税収見込みが6月に確定するので、さらに税の実態等勉強していききたい。

海とまち づくりの 方針は

東浪見海岸の急激な浸食は、砂の供給減に加えて防潮堤の延長による潮流の変化、さらに地盤沈下が重なって発生していると思われる。また海岸法の改正で海岸整備は、地域住民との合意形成のなかで進めることになった。サーフィン人



国保事業による検討

協議機 関をつ く

玉川町長 海岸浸食の原因は、砂の供給の減少、海流の流れの変化、地盤沈下や地球温暖化の海面上昇など指摘されているが、砂の供給減少のなかで町の観光施策の位置付けも必要であり、今後魅力ある海岸、海をどう守るか、まちづくりの方針を伺う。

給減が一番大きな原因といわれている。県はヘッドランド工法で海岸浸食対策を進めている。今後、海をどのようにするか、県、町、そして専門家と住民、海岸関係者、利用者を含めて一つのテーブルで意見交換をする協議機関をつくっていく。具体的には、4月10日に「一宮の海を考える集い」を予定している。

町税の徴収率の

現状は



石野以和夫議員

長引く景気低迷のなかで、町税の徴収率が下がり、財政運営に支障が懸念されると思われるが、町税の状況はどのようなようになっていくか伺う。また滞納者の



徴収に取り組む職員

実情把握はどうか。滞納分と現年分の納付はどのように指導しているのか。

全庁職員体制による徴収の成果と反省、今後の取り組みについて伺う。

収納額、徴収率とも前年度並み

森田税務課長 平成21年度現年分の1月末現在の徴収率は84・9%で前年対比14

ポイント減で収納額は、

5千万円の減となっている。滞納者には基本的に本

税を優先に納付してもらい、相談者には指導、説明

等適切に対応している。

全庁体制による徴収は職員の意識改革が最大の目的であり、ある程度効果が見られた。平成22年度も実施の方向で考えている。

海岸浸食工事問題ないか

21年第4回定例会議会行政報告では、海岸浸食対策事業について、南九十九里浜保全対策協議会から要望書を国土交通省の関係部に提出との報告があった。しかし、現在町民から保全工

事に対しさまざまな意見があり、住民運動も展開しているという。昨年夏の工事説明会では双方の間で対話の結果、確認されたと考えていた。なぜここに至り異論が出てきたのか、町は、事前に県から工法や着工の説明をうけていたのか伺う。

説明会の食い違い

玉川町長 昨年7月町が主催し、一宮の海を考える集いを開催した。県の工事担当者から経過と今後の工事の進め方の説明を受けた。出席者は、工事発注前に説明会が開催されると認識していた。しかし県では理解

が得られたと考え工事に入ってしまった。このような問題が起きないように、常設の協議機関が必要と考える。県もそれを踏まえ国と協議を進めていく。工事に入る前に県からの説明はなかった。

「道の駅」の問題点は

「道の駅＝直売所」と思っている人が多くいるのではないかと。夢のような話が行き、後に町の負担が増大するようではよくないと考える。国民宿舎の跡地を利用し、夏のシーズンにテナ

ト販売をおこなってみるなど、実績をつくってから考



鳴山キャンプ場跡地

前向きに考える

建設予定地の鳴山キャンプ場跡地は、県の保安林で解除は難しい現状である。道の駅をあげたのは、地元の農産物、特に農産物、特産物の直売を大きな目的として考えた。用地の選定は国民宿舎の跡地利用を、海岸の観光とあわせ、前向きに考える。

玉川町長 用地問題、莫大な資金計画、運営方法など多くの課題がある。有力な

都市計画道路

見直し急げ



鶴岡 巖議員

町は、昭和46年3月に都市計画を決定し、その後、用途地域を指定した。計画からすでに40年近く経過し

ており、計画区域内では建築物が制限されるなど、問題点も多い。

また、一宮町都市計画図では、都市計画道路が7本計画されており、一部進んでいる一方で、他の道路の進捗はどうか。

特に、駅東口開設、神門踏切歩道新設問題では、

都市計画道路が障害となっている。社会経済情勢の変化に伴う都市計画道路の見直しは急務である。

そして、見直し、廃止の検討は町の基本計画に位置づけ、期限を切ったスピードのある対応が求められる。考えを伺う。

県と協議し 期限を切り進める

玉川町長 都市計画が現在の社会情勢のなかでうまくいっていないのは理解している。今後は、県とも協議し、まちづくり委員会等の意見も踏まえ、期限を切り、スピードを持って見直しを進めたい。

露崎都市環境課長 都市計画道路は、決定から40年近くになる。この間県道振替の南総一宮線立体交差の宮原海岸線、一宮停車場線の整備がおこなわれているが、他の路線は進んでいないのが現状である。

見直しには、基礎的な調査から始めて数年かかる。しかし、町の主要な計画道路のため、基本計画に位置づけ見直していきたい。

組合は総会で組合員の承認を

東浪見土地区画整理事業は、組合役員による保留地買受保証金7500万円の支払い、第二次賦課金の徴収が進み、町からの公共施設管理者負担金として支援できる条件が整ってきた。

しかし、保留地売買契約では、残金約3億円の支払い期日が平成23年3月31日となっている。その一方、特約のなかでは、支払い期日等が、組合と役員とのお互いの協議事項となっており約束した支払い期日が守られない心配がある。

また、本契約は、組合と役員の契約であり、表裏一体のため、法律上の「自己契約」となり「利益相反行為」となる。そのため、法律上は好ましくない契約となり、それを補うためには組合は、総会を開き組合員の承認が必要となる。考えを伺う。



東浪見土地区画整理地内

事業報告会で承認を得る予定

玉川町長 銀行団との和解の期限が平成25年3月末と決まっております、その期限を過ぎると、約20億円という延滞金、損害金がかかり、払えない場合は、和解が無効となり多額の負債を負うことになる。和解条項の期限を重視し、特約の内容により形骸化される心配はないと考えている。

また、確かに「自己契約」ということで、指摘される点はあるが、組合は、役員が保留地を買い取る契約の問題や賦課金の二次徴収の問題について、全組合員を対象にした事業報告会を3月14日に開催し、組合員の承認を得る予定となっている。

町は、4月に臨時議会を開き予算（公共施設管理者負担金）を計上し、解決を図っていききたいと考えている。

一宮荘の跡地利用は



志田延子議員

町民アンケート調査は、4人に3人が一宮町は住みやすいと答えている。現在の問題点も明確になり、総

合計画作りに方向性が見えたと考えられる。特に力を入れるべき施策として望むものの第一位が観光資源の活用となっている。なかでも国民宿舎一宮荘の跡地利用は、町民からさまざまな意見があるが、町はどのような活用を考えているか伺う。

早期に取り まとめる

玉川町長 国民宿舎一宮荘の跡地利用は、イベント広場、地産地消のテント村、海岸にくる人の休憩施設等さまざまな話はあるが、具体的には何も決っていない。町が所有する一番すばらしい場所で貴重な財産である。国民宿舎一宮荘の検討委員会が跡地についても検討を進め、その後、議会を初め、町民の意見を広く聞く場を設定し、早急に利用計画を取りまとめる考えである。



利用計画が待たれる一宮荘

海岸浸食 対策を問う

平成15年12月の台風21号は、大変な海岸破壊をもたらした。このような災害を忘れず検討を願う。また、一宮町だけでなく、九十九里町・大網白里町・いすみ市までの浸食対策の連携の説明を求める。

引き続き県に 要望する

玉川町長 浸食対策は、護岸・環境・利用のバランスを考えながら、関係者と常設の協議機関をつくり、合意形成を図りながら、工法の改善もされているのでそれらを踏まえ進めてもらう考えである。南九十九里の保全協議会を昨年つくり、九十九里町・大網白里町・白子町・長生村・一宮町・いすみ市で構成している。
養浜事業は、エンドレス事業であり、昨年12月に国へ補助金の要望をした。要望活動は続けていく。一番浸食が進んでいるのは一宮町で、一宮海岸だけの常設の協議会が必要という事で県と協議中である。



浸食対策事業

自治功労表彰

町村議会議員として多年にわたり地域の振興発展に寄与されてきた功績が認められ、全国町村議会議長会長より、自治功労者として表彰されました。
(平成22年2月9日付)



一宮町議会議長
井桁太喜一郎氏 (70歳)

一宮町議会副議長
萩原一美氏 (62歳)



【議長・議員が出席した主な行事】

議会の主な動き
(平成22年1月～3月)

- 1月**
- 8日 議会報編集委員会
 - 9日 第4支団表彰伝達式
広域消防出初式
第4支団消防出初式祝賀会
 - 10日 成人式記念式典
 - 12日 長南町長選挙陣中見舞
 - 17日 長南町長選挙当選祝
 - 20日 例月出納検査
 - 20日 障害者福祉会芸能大会
 - 22日 長生病院運営委員会

- 2月**
- 2日 広域議会運営委員会・定例議会
文化同好会新春の集い
長生郡議長会臨時会
 - 3日 玉前神社節分祭
 - 4日 広域議会常任委員会
 - 12日 広域議会常任委員会・定例議会
長生病院調査研究会
 - 18日 九十九里地域水道企業団理事会
 - 19日 例月出納検査

- 3月**
- 4日 議会運営委員会
議員全体会議
議会報編集委員会
 - 6日 一宮商業高校卒業式
 - 8日 議会定例会（開会）
 - 9.10日 総務文教・経済・厚生
常任委員会
 - 11日 一宮中学校卒業式
 - 15日 議会定例会（閉会）
 - 17日 東浪見小学校卒業式
 - 18日 一宮小学校卒業式
 - 19日 例月出納検査
 - 20日 愛光保育園卒園式
 - 23日 長生郡議長会臨時会
 - 24日 長生都市保健センター運営委員会
 - 31日 長生農協通常総代会

編集後記

今の世の中は、さまざまな情報が錯綜する中で人として迷う事柄が多く、ともすれば時代の流れにのみこまれてしまっています。時代は、移り変わっていくもので、止められないものならば、流れにのまれるのではなく、乗って生きることです。

これからの時代は、全体の動きから個人一人一人の個性の時代へと、大きく流れを変えていくのではないかと見ています。政治、経済、教育、文化、化学、医学、科学、人類が求めたそのすべてが流れの中で動いている現実を受け止めなくてはなりません。流れを感じ取り気づいた上で、良い点は取り入れ、いけない点は、教訓にすることで、何が起きても冷静に身近な知識、情報を生かした対応ができます。それが、知恵のある生き方で、何事も知恵をもとに考えれば、自分の置かれた環境に順応して生きられるものです。

毎日、何かに気づき年月を重ねていくことで、さきざきに大きな差がついていきます。

これからも自分自身の課題に気づき、歩みを止めず、心を進ませ、議員の一員として取り組んでいきたい。

緑川弘行議員